

町民参加による地域アーカイブ
『下諏訪町デジタルアルバム』
の運営

報告者：平林 美香（長野県下諏訪町立図書館館長）

前段 地域新聞のデジタル化

○平成24年度(2012年)緊急雇用創出事業補助金を財源にして行う

事業費:5,218,500円

○事業の対象

- ・民声新聞(昭和21年1月1日～昭和32年8月31日)
- ・湖国新聞(昭和32年9月7日～昭和63年12月31日)

○事業の内容

- ・新聞のマイクロフィルム撮影
- ・パソコンに取り込みデジタル化
- ・OCR処理をして検索可能にする

○町民への提供

図書館のインターネット端末で検索を可能にする

経過1 城取写真館

大正13年(1924年)、先代の城取一二三氏が下諏訪町御田町にて開業

その後城取誠氏が写真館を継ぐ

写真館を閉めるにあたり、図書館に写真を提供してもよい旨の申し出

職員がデジタルアーキビスト講習に参加

平成29年(2017年)

長野県諏訪地域振興局「地域発元気づくり支援金」事業に応募し採用される。

経過2 地域資料保存伝承事業

事業実施期間:平成29年度(2017年)～令和元年度(2019年)

○平成29年度事業内容 事業費:489,898円

- ・写真デジタル化:428枚(聞き取り情報も含め保存)
シルバーメディアセンターに委託
- ・ワークショップ「写真昔語り」開催
- ・8ミリフィルム9本・16ミリフィルム2本をDVD化

経過2 地域資料保存伝承事業

○平成30年度事業内容 事業費:434,655円

- ・写真デジタル化: 1,080枚(聞き取り情報も含め保存)
※シルバーハンモックセンターに委託
- ・写真館以外にも個人・旅館・博物館・町広報担当から写真の提供を受けた
- ・16ミリフィルム2本をDVD化、上映
- ・ワークショップ「写真昔語り」開催
- ・図書館内でミニ写真展の開催
- ・宿場街道資料館にて写真展
- ・「下諏訪昔瓦版」制作・配布
- ・博物館の企画へのデータ提供

経過2 地域資料保存伝承事業

○令和元年度事業内容 事業費:965,669円

- ・写真デジタル化:458枚 説明文等の作成
※シルバーハンモックセンターに委託
- ・「みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム」ワークショップ(町民向け)
- ・図書館内でミニ写真展の開催
- ・博物館の企画へのデータ提供
- ・令和2年(2020年)3月7日
「みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム」インターネット公開

○総事業費:1,890,222円 (うち地域発元気づくり支援金:1,422,000円)

みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム

サイトURL:<https://d-commons.net/shimosuwa/>

信州デジタルコモンズプロジェクト
代表前川氏の協力のもと、
長野大学学生も参加してサイトの
作りこみを検討した。



- ・契約金額: 509,259円
- ・準備機材: スキャナー1台、パソコン1台、ハードディスク1台(データバックアップ用)

みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム

- ・資料のダウンロードが可能
- ・ユーザー登録を行えば誰でもデータのアップロードが可能
- ・著作権の表示(CCライセンス)
- ・撮影場所の位置表示
- ・参考文献
- ・詳しい説明文

下駄スケートをする子どもたち



[ダウンロード](#)

下駄スケートで滑る小学生、先頭は改良されたスピードの三本刃、後方は最初の二本刃のスケート。この写真的説明は昭和初期としてあるが、「写真いまとむかし(下諏訪町)」には、「大正後期のスケート遊び(矢島式下駄スケート)」と説明されている。また、「下諏訪町町制施行125周年(下諏訪今昔絵巻)」には大正14(1925)年頃と注釈がされている。

公開後の図書館の取り組み

- ・写真の収集とデジタル化

公開時:1,500点→現在:約2,830点(R7.8現在 非公開を含む)

年間事業費:145,000円

(内訳:システム利用料120,000円 講師謝礼12,000円 消耗品費13,000円)

- ・ミニ写真展の開催

- ・「下諏訪昔瓦版」の制作、配布

- ・デジタルアルバム講習会

- ・ボランティアの募集と育成

- ・関係団体によるパンフレットの作成

- ・小中学校の授業での活用の推進

ご清聴ありがとうございました
